

タスクベースの言語指導からの
(Task-Based Language Teaching, **TBLT**)
実践のアイデア

小林ヒルマン恭子
(前ブリティッシュコロンビア大学)

JFTオンライン日本語教師研修

タスクベースの言語指導 (TBLT) からの実践のアイデア



2026年6月6日 (土)
7:00 pm ~ 8:30 pm (EDT)

TBLTの基本的な
考え方と従来の
アプローチとの
共通点と相違点

2026年6月20日 (土)
7:00 pm ~ 8:30 pm (EDT)

授業実践のための
方法—TBLTの
十の原則について

2026年7月4日 (土)
7:00 pm ~ 8:30 pm (EDT)

TBLTから見た
教材作成の
アイデア

<https://tr.jpf.go.jp/event/workshop260606/>



前回の内容へのコメントや質問

3

共有ファイルやアンケートへの書き込みをありがとうございました。

- ➡ 勉強したこと、しかも分からなかったから説明をした語彙を1週間後に会話の中で何気なくだしたとしても、その言葉をインプット出来ていなかったということがよくあります。その場合は明示的にしてまた説明をした方がわかりやすい。ということですが、具体的にどうやって？何をすればいいか？どうすればインプット出来るか、難しい点です。その際の手段や方法を知りたいです。

言葉が入っていなかったらたくさんの例文、特にその生徒さんが理解しやすい文脈で理解してもらうのがいいと思います。それでもわからない場合は絵を使える場合は使い、最後は一番明示的な英訳も考えられます。またインプットが入っていて理解できても、産出まで時間がかかっているかもしれないので、それにも気をつけた方がいいかもしれません。

- ➡ 限られた授業時間（週1回2時間）で暗示的学習の何をどうやって取り入れられるか。

授業以外の時間に多読や多聴の機会を与える。生徒の好きなアニメの語彙や表現をサポートする。

- ➡ Flipped learning（反転学習）で何を暗示的に入れられるか？

文法を明示的に教えているのであれば、文法を主にしない意味が主の活動を授業中または授業以外の時間に入れるのはどうか。（同上）

- ➡ 日本語の指導例の映像は？ ない可能性が高い。Youtubeでは他の言語のものがある。

- ➡ フィードバックの論文 Goo, Jaemyung (2019). Interaction in L2 Learning. In J.W. Schwieter & A. Benati (eds.) *The Cambridge Handbook of Language Learning*. Cambridge, U.K.: Cambridge University Press.

本日の流れ

4

1. 本セッションの目標
2. 本日の情報・意見交換の質問
3. タスクベースのニーズ分析の流れ
4. TBLTの方法論上の第3と4の原則
5. 実践例：初級を含む
6. 評価について
7. 本日の情報・意見交換の質問

前半（50分）録画

後半（40分）BRでの話し合い(20分) ・ 質疑応答(20分)

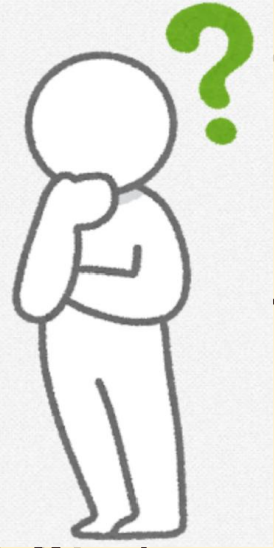
本セッションの目標（第3部）

- ▶ TBLTの教材作成の考え方について紹介する。
- ▶ TBLTの教材の実践のアイデアを紹介し、参加者の授業の中での実践の可能性を探る。
- ▶ 参加者のSLAに関わる知識を深め、専門性を高める（全体）
- ▶ 参加者間で各自の教育現場について情報交換を行い、視野を広め、新しい視点を共有する（全体）

情報・意見交換 @Breakout Room

6

1. みなさんは教科書以外の教材をよく作成しますか。
どうしてですか。
2. 今日の内容で使えそうだったものがありますか。
3. TBLTの教材やタスクなどについてなにか質問がありますか。



タスクベースのニーズ分析の流れ

7

(Task-Based Needs Analysis, TBNA)

(小柳, 2025; Kobayashi Hillman & Long, 2019)

1. 出版物から職種に関わるタスクを探す。
2. 領域の専門家にメールでタスクや言語についてメールをする。
3. 領域の専門家にインタビューを行う。
4. タスクが行われている場面を観察する。
5. タスクを遂行している人たちにアンケート調査を行う。
6. 【教材開発のために】タスクと共に語彙や表現を収集。
やりとりを記録し、語彙や表現を収集。
7. 【教材開発のために】タスクを行う際のひな型となる例を作成する。

一般教育の日本語コースのニーズについて

(松村 2017)

- 総合的な日本語運用能力の向上を目指している場合
 - 生徒の日本語学習の背景や日本語を必要とする文脈がさまざまである場合
 - 未来志向的に日本での留学や滞在のために必要となる可能性のあるタスクを取り上げてみる。
- 例) 日本到着時や滞在で役に立つタスク
- 日本に行く予定のない生徒にとっても一般的な知識として将来活用されるのではないか。

TBLTの方法論上の原則

(Long 2015; 小柳 2025 注は小林ヒルマン)

9

1. テキストではなくタスクを分析単位として用いる★
2. 実践を通じた学びを推進する ★はTBLT独特の原則
3. インプットを精緻化する★
4. 豊富なインプットを与える
5. 帰納的なまとめり学習を奨励する
6. フォームに焦点を合わせる（フォーカスオンフォーム）★
7. 否定的なフィードバックを与える（誤用訂正を行う）
8. 学習者個々のシラバスと発達過程を尊重する
9. 協力的協働的な学習を推進する
10. 指導を個人化する 注：1) ニーズ分析
2) 普遍的な学習過程と学習者個人の内的シラバスを指導のガイドにする

3.インプットを精緻化する★

4.豊富なインプットを与える

- ▶ インプットとは、コミュニケーションを通じて第二言語学習者が触れる言語情報のこと

聞いたり読んだりしてその意図や意味を理解しようとする言語情報のことである。 (白畑 ほか 2017)

- ▶ 学習者が意味に焦点を合わせて、豊かなインプットにさらされると言語学習が促進される。→インプットの重要性に注目。

Q.みなさんは、インプットの量と質をどのように操作していますか。
インプットを修正する時、どのような修正を行っていますか。

学習に効果的なインプットを与える教材とは

11

純正(Genuine)インプット：生教材、真正インプット(authentic input)

母語話者へのインプット、無修正のインプット

★インプット修正の研究結果から、インプットは修正すると学習者の意味理解と学習を促進することがわかっている。

＜インプット修正の種類＞

- インプット強化(Input enhancement)

例) **インプット強化**とは、卓立性を高める方法でもある。

教科書など教材の中でもよく使われている。

形の学習に効果があるが、意味の学習に効果がない。

(e.g., Issa & Morgan-Short, 2018)

- インプットの簡略化(Input simplification) 文や言葉を簡単にすること。頻出度の高い簡単な言葉を使う。わかりやすい反面、情報は希薄化する。
- インプットの精緻化(Input elaboration) 冗長性を高め、情報を詳しくする。ただし、文は長くなる。

インプット修正の例

例) 新幹線のホームの案内放送

純正：まもなく3番線に6時33分発のぞみ3号博多行きが到着いたします。黄色い点字ブロックの内側までお下がりください。自由席は1号車から3号車です。

簡略化：もうすぐ3番に6時33分の新幹線が来ます。黄色のブロックの中でまってください。自由に座れるところは、1から3の車です。

精緻化：まもなく、もうすぐ3番線に6時33分発、6時33分に出発する、のぞみ3号博多行きが、福岡の博多行き新幹線が、到着いたします。ホームに入ってきます。黄色い点字ブロックの内側までお下がりください。ホームの黄色い線の中でお待ちください。待ってください。自由席、自由に座れるところは、1号車から3号車です。1から3の車両、車です。

日本語母語話者の精緻化の例：中級後半の学生への回答として

13

はい、えっとーLNGも天然ガスから作っているので、あの、ま いわゆる化石燃料おー、ですね、ですので、あのーこの二酸化炭素、地球温暖化の問題からすると、えー、ま環境に、そ、あの、やさしくない燃料っていう、**エネルギー**っていうふうにもま、分類できると思います。えー数年前まではあのLNGっていつか終わるのかな、と、**必要とされなくなるのかな**、と、それよりももっとクリーンエネルギー、**再生可能エネルギー**にもっとこうシフトしていくんだよね、っていうふうに見られていたんですけども、最近、ちょっとそのコビッドの後特に その新エネルギーってけっこうやっぱり難しい、**お金がかかる、よね**っていうことで、ちょっとその新エネルギーへのシフトっていうのが今あのー、おー、ちょっと、スローダウンしているような状況で、えー一方でLNGにもう再度 **ふたたび**、注目があつまってきた、まあ化石燃料の中ではLNGっていうのは、えークリーンな、**二酸化炭素の排出が少ない**燃料だよねということで、今あのふたたびLNGに対する関心が高まりつつあるっていうのは、はい、おっしゃる通りだと思います。

精緻インプットの効果と操作

14

インプット修正の比較研究

読解/聴解テストにおいて、純正のインプットよりも修正インプットの方が効果的。精緻化と簡略化なら精緻化がよい傾向。

語彙学習（習得）において、精緻化の方が純正インプットよりよい傾向。

(e.g., Long & Ross, 1993; Kobayashi Hillman, 2020)

➡ 意味交渉の中で起こる精緻化とは

話す速度の調整の他に

語彙や複文の談話レベルの言い換え、現時点の意味の確認、

繰り返し、言い直し、明確化要請、理解確認、

足場かけとしての言葉の言い換えや分解など

→ 冗長性を高めて、理解可能なインプットにすること ➡

教材作成時に
取り入れれば
豊かなインプットに
なるのでは？

(e.g., Long 2015; 小柳 1999; 小林ヒルマン 2020)

TBLTの実践例：英語、フランス語、スペイン語の映像はあり。

15

▶ ヨーロッパでの実践の代表例

ベルギーの移民のためのオランダ語プログラム

(Van Den Branden, 2006)

▶ アメリカでの実践例

タスクバンク スペイン語が多い。日本語はなし？

政府関係の研修所：外交警備員 国境警備隊

(González-Lloret & Nielson, 2014; Matar, 2014; Touré & Nicolai, 2015)

IATBLT 研究と実践の発表がある。

TBLT Asiaも日本で開催されている。

→ 日本語教育の例は少ない。

実践例：ニーズ分析から試みたTBLTの例

16

植松容子(2026)「中上級を対象としたTBLTの実践—アルバイト場面における苦情への対応を例に」第39回国学院大学日本語教育研究会講演資料(2026年3月7日)より

対象の学習者	日本語学校の中上級レベルに在籍する留学生 5名(中国語母語話者) 研究のためのモデルクラス参加を承諾・希望する者
タスク 目標 教育用	目標タスク：アルバイト場面での苦情に対応する 授業で取り組むタスクは日本能率協会コンサルティング編著(2025)より選定 1. 注文の取り違いによる店内トラブルに対応する(同63-71) 2. モバイルオーダーへの対応を拒否する常連客に対応する(同179-189) 3. 店内での動画撮影をやめない客に対応する(同74-82)
概要・流れ	・ ニーズ分析に基づきタスクを特定 ・ Pre-taskのインプットは苦情対応ケースの会話例スクリプト(読解)／その聴解 ・ タスク実施中はビデオで録画し、Post-taskとして録画を視聴してFonFを実施
結果・考察	・ ニーズ分析は個別だけでなく協働によるやりとりがあるとタスク特定に至りやすい ・ 初回の授業でタスク実施の意義を丁寧に説明することで動機を高めることができる ・ FonFは学習者からの評価が高かったが1名は「もっと文法を学びたい」と回答

※本研究は國學院大學研究倫理審査委員会の審査を受け、承認を得ている(ヒト研究R07第19号)

※引用文献:日本能率協会コンサルティング編著(2025)『実践 カスタマーハラスメント対応ケーススタディ』経団連出版

実践例：TBLTの教材作成と実験授業

17

杉山ますよ他(2011)「TBLTによる実践報告」『日本語教育研究』
(2011年10月 57号)より

対象の学習者	外国語としての日本語 ビジネスの日本語学習者 様々な国の学生5名 初級レベル
タスク 目標 教育用	試作教材「身の回りの品を買う」 1. 欲しい品の有無の客と店員のやり取りを理解し、言語形式に気づく。(インプット・気づき) 2. 欲しい品の有無のやり取りを理解し、言語形式に気づく。(理解・インテイク) 3. 欲しい品の有無を尋ね、相手の発話を聞き取り、理解の再確認。⇒ 統合 4. 値段を尋ねる、聞き取る言語形式に気づく(気づき⇒インテイク⇒統合) 5. タスク4までの学習項目を総括して発話 やりとり(アウトプット・統合)
概要・流れ	・ 会話の場面やそれぞれの会話を絵を用いて示す。テープを何回も聞く。 ・ タスクシートをもとにテープを聞き、シートに品の有無のチェック、値段の確認。 ・ 難易度、興味、有用性のアンケートをとる。 ・ タスクの配列は言語習得のプロセスモデルに沿う。
結果・考察	・ TBLTの方法論上の原則をほぼ取り入れることができた。 ・ 学習項目は繰り返しのインプットにより学習者の気づきを促す。 ・ ニーズ分析に基づいて取り上げた言語表現は簡略化しない。

実践例：タスクベースシラバスのコース

18

澁川・西野他(2025)中級日本語教科書『タスクベースで学ぶ日本語 中級』シリーズの開発—TBLT (Task-Based Language Teaching) の日本語教育への応用— ICU 日本語教育研究 20,3-22

西野藍(2025)「TBLTのタスクがもたらす対話を通じた学び—『タスクベースで学ぶ日本語 中級I』の開発と実践— ICU 日本語教育研究 21,3-20

テキスト 対象者	国際基督教大学著『タスクベースで学ぶ日本語 中級2』（スリーエーネットワーク） 外国語としての日本語 中級レベル（CEFR B1.2）コース 【ICU Japanese 5】
概要	・ICUディプロマ・ポリシーのもと開発された教材 ・社会や文化に関するやや専門的なトピックを通してアカデミックな日本語を学ぶ ・75分*8コマ+チュートリアル2コマ✕9週間 8～10コマかけて1つの課（テーマ）
特徴	1) テーマ✕タスク（澁川他2025） 2) タスクの連なり（1冊を通して/1課の中で） 第5課「災害に対して準備している？」 プレ「災害の種類とことば確認」「身近な例を紹介」「災害のアナウンスを聞く」 メイン「防災グッズを調べ、避難時の防災リュックの構成をグループで話し合う」 ポスト「選んだ防災グッズについて発表する」
所感	・多様なタスクを通して総合的な運用力を高めていく ・タスク=遂行/達成すべきもの、かつ、対話（意味の共構築）の場 『中級2』→活用できる外部リソースも多い+学習者自身のリソース ・学習者の声

実践例：TBLTの視点をコースに取り入れた例

19

小林ヒルマン恭子(2026)「TBLTの視点を採り入れた双方向オンラインインタビューの実践報告」AATJ in Vancouver(2026年3月12日)より

対象の学習者	外国語としての日本語 大学生176名(7コースの総計人数) 中上級レベルコースの一部
タスク 目標 教育用	1. 日本語ゲストにメールでオンラインインタビューの日時とZoomリンクを知らせる。 2. 日本語ゲストに半構造化インタビューを行う。 3. インタビュー直後にお礼のメールを送る。 4. インタビューから学んだことを報告会で報告する。
概要・流れ	・ コースの最後のプロジェクトだったため、文法の指導は学生の産出へのFBのみ。 ・ 足場かけとして参考資料は配布。 ・ 4のタスクのビデオを見せ、目標を明確化した。
結果・考察	・ TBLTの方法論上の原則を概ね取り入れることができた。 日本語ゲストの話が精緻インプットになった。 ・ ニーズ分析に基づいていないが、学生の興味に基づいて、インタビューが行えた。

実践例(案)： 初級レベルで行える目標＋教育用タスク

20

小林ヒルマン恭子

対象の学習者	外国語または第二言語としての日本語 初級レベルコースの一部
タスク 目標 教育用	目標タスク：東京駅で京都行きの新幹線のホームを教えてください 初級レベル教科書の始めの方の課に公共の交通機関を利用する場面があり、新幹線の利用を現実世界のタスクと捉える。 教育用タスク：1. 東京駅の地図を見て、ホームや階段を見つける。(info.gap) 2. 新幹線の電光掲示板から新幹線の名前と出発時間を知る。(読解) 3. 東京駅の中で道聞きをする。(info.gap)
概要・流れ	目標タスクを提示し、モデル会話を見せる。この時に未習語彙・表現も使う。 教育用タスクを行いながら、語彙・表現を導入し、できれば聴解や読解でインプットにさらし、産出に導く。最期は目標タスクを教師と行う。(プロジェクターに駅の構内を映し臨場感を出す。雑音もあった方が好ましい。)
資料	・ <u>東海道新幹線の駅の放送</u> ・ <u>東京駅案内</u> 必要な語彙や表現をビデオを見ながら確認する。看板の読解。 例) 新幹線北のりかえ口、エレベーター ・ <u>京都駅の新幹線ホームの降り方</u> ホームに関連する語彙も紹介できる。 例) 階段、エスカレーター、地名

TBLTの評価

21

- ➡ 目標タスクの遂行能力を目標基準準拠テストで測定する。
- ➡ パフォーマンスを到達度テストとして測定する。
- ➡ 現実のタスクを録画したり、シュミレーションとして行う。
- ➡ 車の運転免許の実技テストのように、できればそのタスクを知る専門家に評価されるべきである。
- ➡ タスクの完成度に注目し、細かい言語の間違ひは注目しない方がよい。

(Long 2015)

- ➡ ルーブリックは、包括的尺度と分析的尺度の二種が望ましい。

包括的(共通)：パフォーマンスレベルを4レベルで評価(優・良・可・不可)

分析的(タスク毎)：タスク別の細かい項目

完成度・理解度・正確さ・話者としての対応など

(近藤ブラウン 2012)

年少者用の日本語口頭テストの見本(近藤ブラウン2012)

*初級日本語クラス用の見本もあり。

22

目標タスク：挨拶をする。

自分の名前や年齢、学年についての質問に答える。

相手の名前を尋ねる。

資料5-2B. タスク共通尺度(和訳)

期待以下の達成 (1-3点)	期待レベルの達成 (4-6点)	期待以上の達成 (7点)
タスクのできが不十分である	タスクのできが十分である	タスクのできが期待以上である
試験官の助けがあっても、ほとんど全ての質問に正確に答えられない。簡単で意味のある受け答えができない。タスクを遂行するための語彙や表現が、明らかに不足している。	試験官の助けがなくても(または、助けがあれば)ほとんど全ての質問に正確に答えられる。簡単で意味のある受け答えができる。タスクを遂行するために、習った範囲内で、多くの語彙や表現を使うことができる。発音やイントネーションが良い。	試験官の助けがなくても、期待されているレベルの全ての質問に正確に答えられる。レベル以上の質問についても答えられる。簡単で意味のある受け答えが楽にできる。発音やイントネーションに全く問題がない。

資料5-3B. タスク別尺度の見本(挨拶と自己)(和訳)

期待以下の達成 (Non-mastery)			期待レベルの達成 (Mastery)			期待以上の達成 (Beyond-Mastery)
1	2	3	4	5	6	7
自己について全く話せない	適切な挨拶ができる 自己について一つの質問に答えられる	適切な挨拶ができる 自己について二つの質問に答えられる	適切な挨拶ができる 自己について二つの質問に答えられる	適切な挨拶ができる 自己について二つの質問に答えられる	適切な挨拶ができる 自己について三つの質問に答えられる(名前、年齢、学年)	家庭における日本語の使用について質問に答えられる 以下はレベル6と同様
	人に名前を尋ねることができない	人に名前を尋ねることができない	人に名前を尋ねることができる	人に名前を尋ねることができる	人に名前を尋ねることができる	
	発話が長く止まることがある。発話に小さな間違いがある	発話が長く止まることがある。発話に小さな間違いがある	発話は躊躇しがちであるが正確である	発話は正確かつ迅速である	発話は正確かつ迅速である	
	試験官からの助けが頻繁に必要である	試験官からの助けが頻繁に必要である	頻繁にはないが、試験官からの助けが必要な場合がある	頻繁にはないが、試験官からの助けが必要な場合がある	試験官からの助けは必要ない	

クラスの数が多い場合は包括的なものだけ使用することも可能と述べている。

情報・意見交換 @Breakout Room

1. みなさんは教科書以外の教材をよく作成しますか。
どうしてですか。
2. 今日の内容で使えそうだったものがありますか。
3. TBLTの教材やタスクなどについてなにか質問がありますか。



第3部

1. みなさんは教科書以外の教材をよく作成しますか。どうしてですか。
2. 今日の内容で使えそうだったものがありますか。
3. TBLTの教材やタスクなどについてなにか質問がありますか。

*コメントや質問などをこちらにご記入ください。(メンバーのお名前をよろしければお残してください。)

質疑応答



ご質問があれば
共有ファイルに書き込むか

kkh1225@terpmail.umd.edu
までご連絡ください。



参考文献(1)

小柳かおる (2004)『日本語教師のための新しい言語習得概論』スリーエーネットワーク

—— (2025)『第二言語習得研究とタスクベースの言語指導』くろしお出版

近藤ブラウン妃美 (2025)『日本語教師のための評価入門』くろしお出版

白畑知彦・鈴木孝明・川咲さき貴子・近藤隆子・須田孝司・藤森敦之 (2017)『第二言語習得キーマン事典』東京:開拓社.

松村昌紀編 (2017)『タスク・ベースの英語指導—TBLTの理解と実践』大修館書店

Ahmadian, M.J., and Long, M.H. (2022). *The Cambridge Handbook of Task-Based Language Teaching*. Cambridge: Cambridge University Press.

González-Lloret, M. & Nielson, K.B. (2014) Evaluating TBLT: The case of a task-based Spanish program. *Language Teaching Research*, 1-25.

Goo, Jaemyung (2019). Interaction in L2 Learning. In J.W. Schwieter & A. Benati (Eds.) *The Cambridge Handbook of Language Learning*. Cambridge, U.K.: Cambridge University Press.

Issa, B. I., & Morgan-Short, K. (2018). Effects of external and internal attentional manipulations on second language grammar development: An eye-tracking study. *Studies in Second Language Acquisition*, 41 (2), 389-417.

Kobayashi Hillman, K. (2020). Effects of different types of auditory input on incidental vocabulary learning by L2 Japanese speakers (Unpublished Ph.D. dissertation). College Park, MD: University of Maryland.

参考文献(2)

- Kobayashi Hillman, K., & Long, M.H. (2020). A task-based needs analysis for US Foreign Service Officers, and the challenge of the Japanese celebration speech. In C. Lambert and R. Oliver (Eds.), *Using Tasks in Second Language Teaching: Practice in Diverse Contexts* (pp. 123-145). Bristol: Multilingual Matters.
- Long, M.H. (2015). *Second language acquisition and task-based language teaching*. Oxford: Wiley Blackwell.
- Long, M.H. (2020). Optimal input for language teaching: Genuine, simplified, elaborated, or modified elaborated? *Language Teaching*, 53(2), 169-182.
- Long, M.H., Lee, J., Kobayashi Hillman, K. (2019). Task-Based Language Learning. In J.W. Schwieter & A. Benati (Eds.) *The Cambridge Handbook of Language Learning*. Cambridge, U.K.: Cambridge University Press.
- Long, M.H., & Ross, S.J. (1993). Modification that preserves language and content. In M. Tickoo (Ed.). *Simplification: Theory and Application*. (pp.29-52). Singapore: SEAMEO Regional Language Centre.
- Matar, T. (2014, September). *Task based assessment and ALERT (Awareness Language and Emergency Response Training)*. Paper presented at Assessment LEARN (Language Education and Resource Network): Applications and implications of the ILR skill level descriptions, Chevy Chase, MD.
- Van den Branden, K. (2006). *Task-Based Language Education: From Theory to Practice*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Van den Branden, K., Bygate, M., & Norris, J.M. (2009). *Task-Based Language Teaching: A reader*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.

謝 辞

JAPN FOUNDATION TORONTOの皆さま

山本所長

齋藤プログラムオフィサー

実践例を報告してくださった

植松先生

杉山先生

西野先生

に厚くお礼を申し上げます。

Q & A

この度はご参加くださり、
ありがとうございました！

ご質問があれば
kkh1225@terpmail.umd.edu
までご連絡ください。

